

## 自施設における卵管・卵巢高異型度漿液性癌の原発部位別の予後の検討

### 1. 研究の対象

2020 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの期間、卵巢癌の診断で当院で治療をうけられた方。

### 2. 研究目的・方法

目的：当院で治療を行った卵管・卵巢高異型度漿液性癌について、病巣の首座や漿液性卵管上皮内病変（serous tubal intraepithelial carcinoma: STIC）の有無を評価し、治療効果および予後との関連性について検討することを目的に、診療記録を元に調査を行います。

方法：診療情報から調査項目を取得します。

調査期間：2020 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日

研究期間：2026 年 3 月 25 日から 2027 年 3 月 31 日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

< 患者背景因子 >

臨床診断、年齢、PS、進行期、組織型、漿液性卵管上皮内病変（serous tubal intraepithelial carcinoma: STIC）の有無、化学療法歴（既往レジメン数）、再発部位  
相同組み換え修復欠損（homologous recombination deficiency :HRD）の有無、CA125

< 治療関連因子 >

初回治療日、手術術式、手術完遂度、化学療法、サイクル数、治療期間、有害事象

< 転帰 >

再発の有無、再発確認日、無増悪生存期間、全生存期間、最終生存確認日

< 統計学的解析 >

奏効割合と有害事象は Chi-squared test、生存期間に関しては Kaplan-Meier 法を用いて全生存関数を推定した上で描画します。

### 4. 外部への試料・情報の提供

研究事務局へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。個人を特定するための情報（表）は、研究事務局の研究責任者が保管・管理します。これらの記録は、研究終了日から 10 年間保管されます。

## 5. 個人情報の取扱いについて

研究結果を学会発表・論文投稿で行う予定ですがその場合も個人を特定できる情報が用いられることはありません。

## 6. 本研究で取り扱いする情報の保管と廃棄について

本研究で得られたデータは、研究終了日から 10 年間で保管されます。

廃棄については、研究に使用した研究記録等を廃棄する場合、復元不可能な状態にします（シュレッダーで破棄する）。また、電子媒体についても復元不可能な状態にデータを消去します。

## 7. 研究組織

東北医科薬科大学医学部 産婦人科学 櫻田尚子

## 8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

東北医科薬科大学医学部 産婦人科学 櫻田尚子

〒983-8536 宮城県仙台市宮城野区福室1丁目15番1号

Tel:022-234-4181

E-mail: sakurada.shouko@tohoku-mpu.ac.jp